
株式会社メガチップス

2021年3月期 第2四半期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目 次

1. 2021年3月期・2Q業績報告 3
2. 2021年3月期 業績予想の修正 8

2021年3月期 2Q業績報告

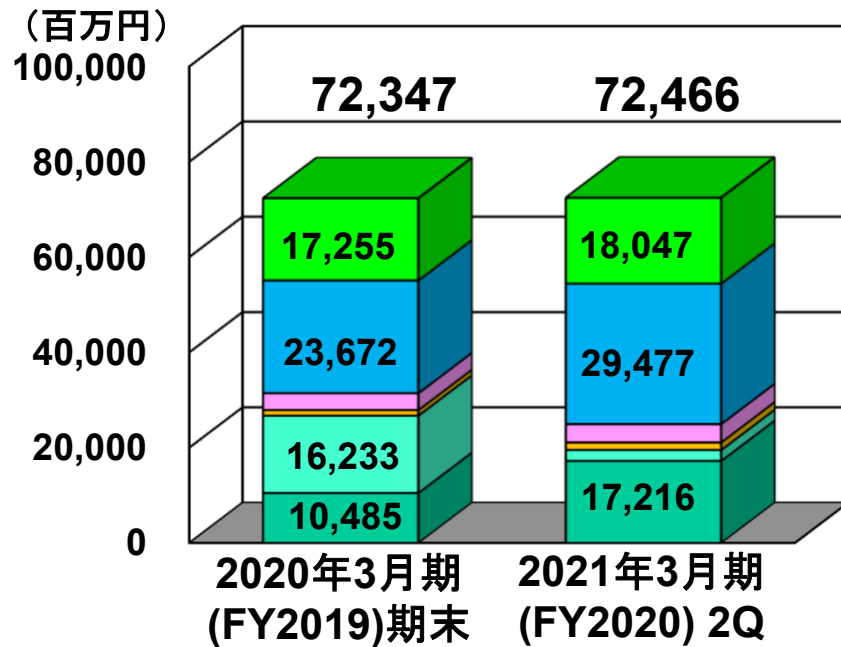
2021年3月期 2Q連結業績(P/L)サマリー

(単位:百万円)		2021年3月期 (FY2020) 2Q実績	2020年3月期 (FY2019) 2Q実績
連結	売上高	45,912	34,282
	のれん等償却前 営業利益	2,982	1,281
	のれん等償却	583	1,250
	のれん等償却後 営業利益	2,398	30
	経常利益	1,400	- 268
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,199	- 859
	1株利益(円)	101.06	- 39.49

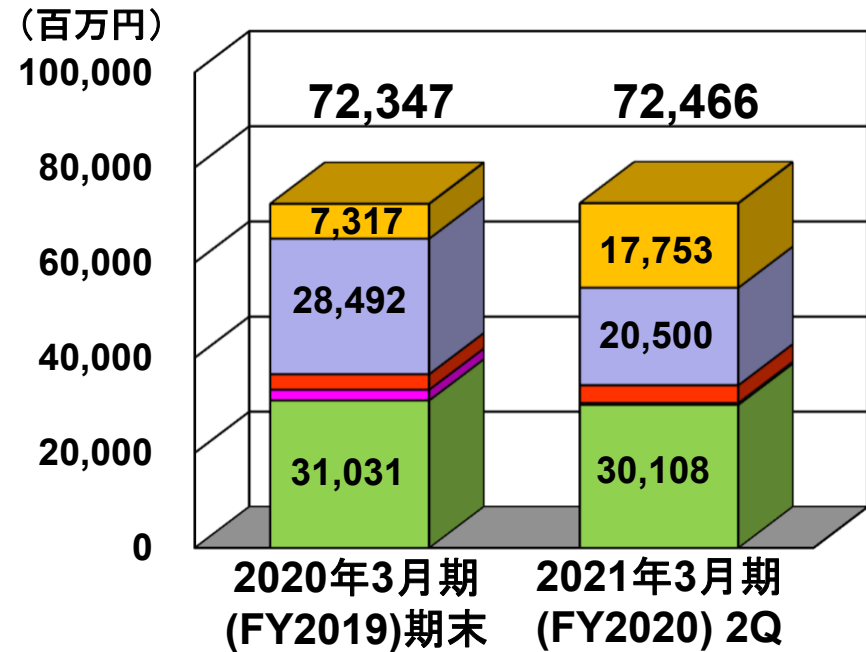
2021年3月期第2四半期の連結業績において、主にゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が堅調に推移して、売上高および各利益は前年同四半期を上回り黒字となった。
また、2019年3月より構造改革に着手し、事業構造の見直し、業務の効率化、財務体質の改善等を図るため様々な施策を推進した結果、これらの取り組みの成果も着実に表れて増益に貢献した。

※FY2019 2Q為替レート:米ドル 109.56円、台湾ドル 3.6284円
※FY2020 2Q為替レート:米ドル 105.80円、台湾ドル 3.6510円

2021年3月期 2Q 財政状態

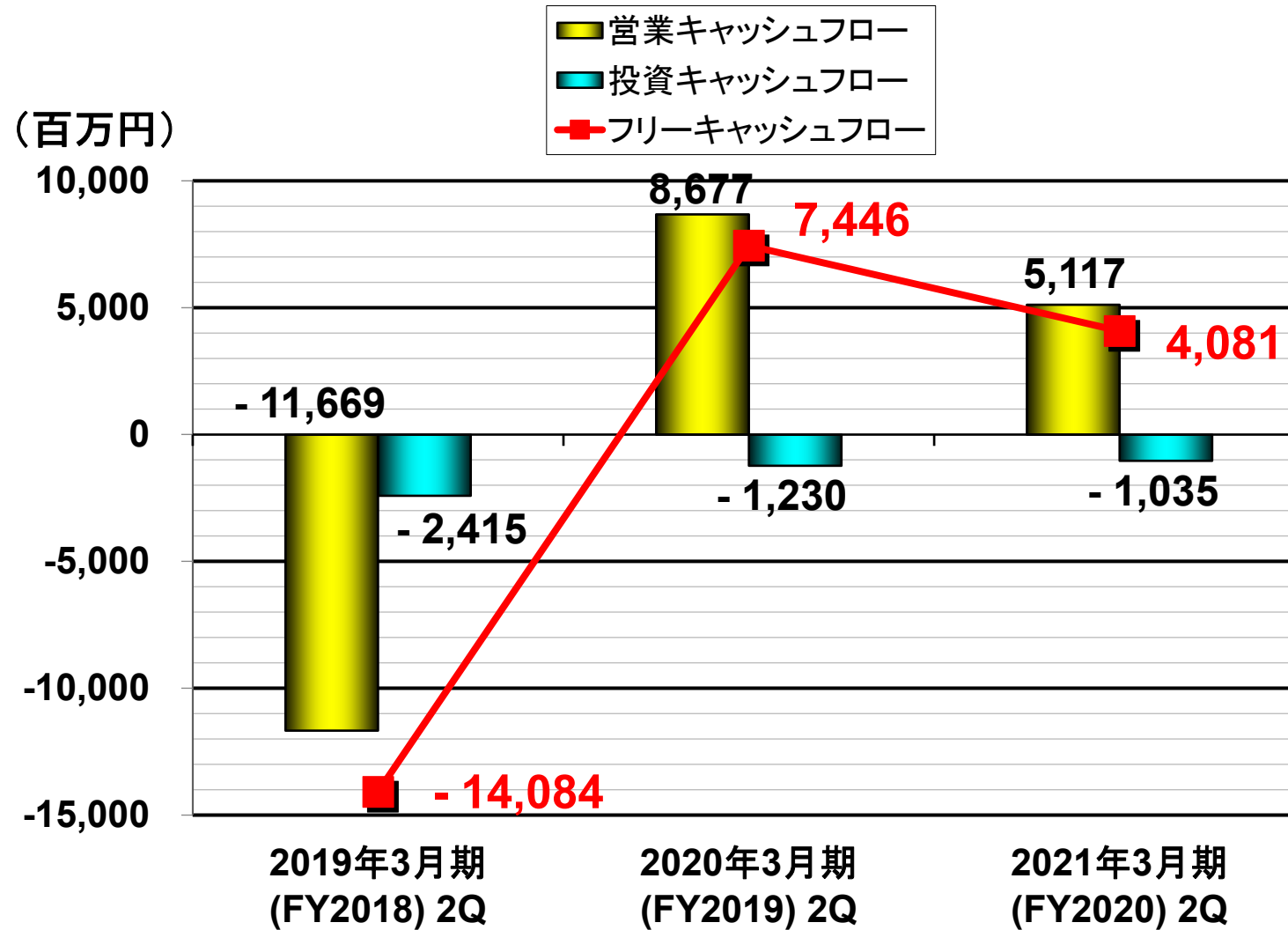


	FY2019 期末	FY2020 2Q
現金及び預金	17,255	18,047
受取手形及び売掛金	23,672	29,477
たな卸資産	3,533	3,848
その他の流動資産	1,168	1,596
無形、有形固定資産	16,233	2,283
投資その他の資産	10,485	17,216



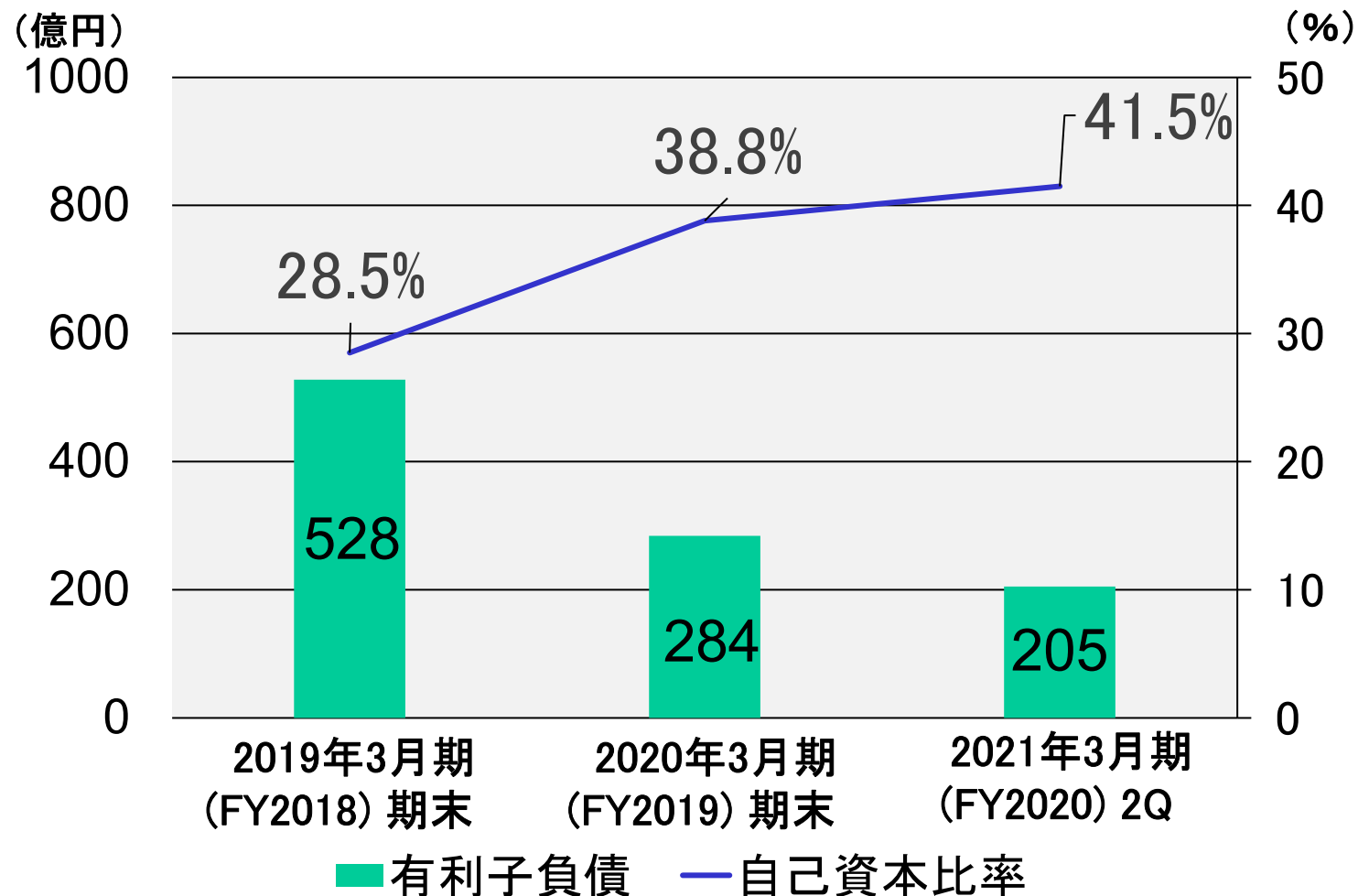
	FY2019 期末	FY2020 2Q
支払手形及び買掛金	7,317	17,753
有利子負債	28,492	20,500
その他流動負債	3,264	3,729
その他固定負債	2,243	376
純資産	31,031	30,108

2021年3月期 2Q キャッシュフロー



2021年3月期 2Q 有利子負債及び自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります。



2021年3月期 業績予想の修正

2021年3月期 通期業績予想

2021年3月期通期_今回業績予想

(単位:百万円)		2021年3月期 (FY2020) 通期予想 (今回)	2021年3月期 (FY2020) 通期予想 (前回)	対前回(%)	2020年3月期 (FY2019) 通期実績
連結	売上高	75,000	55,000	136.4%	65,764
	のれん償却前営業利益	4,800	3,800	126.3%	3,449
	のれん償却	600	600	—	2,477
	のれん償却後営業利益	4,200	3,200	131.3%	972
	経常利益	2,700	2,100	128.6%	639
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,700	1,800	150.0%	-1,792
	1株利益(円)	124.06	82.71	150.0%	- 82.35

<業績予想修正の理由>

- ・ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が、当社前回想定に対して堅調に推移した。
- ・2019年3月より着手してきた構造改革の様々な施策(事業構造の見直し、業務の効率化、財務体質の改善等)により、当期においてこれらの取り組みの成果が着実に表れたことも増益に貢献する見込み。

※2021年3月期 第2四半期よりSiTimeはメガチップスの連結子会社から持分法関連会社に異動しました。

※2020年3月期 期末為替レート:米ドル 108.83円、台湾ドル 3.601円

※2021年3月期 前提為替レート:米ドル 105円、台湾ドル 3.6円

≫基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

≫情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
財務統括部 広報部

ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886